

平成 2 7 年 5 月 2 5 日現在

機関番号：3 4 4 1 9

研究種目：基盤研究(C)

研究期間：2010～2014

課題番号：2 2 5 3 0 8 3 7

研究課題名(和文)旧制中学校および旧制高等学校の寄宿舍自治活動と校友会の成立と変遷

研究課題名(英文) A study about establishment and changes of Autonomy of Dormitory Life and koyukai asosociation junior high school and high school under the old system of Japanese education

研究代表者

富岡 勝(TOMIOKA, Masaru)

近畿大学・教職教育部・教授

研究者番号：5 0 3 0 3 7 9 8

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 2,600,000 円

研究成果の概要(和文)：旧制中学校および旧制高等学校の寄宿舍自治活動と校友会の成立と変遷について、校友会雑誌などの具体的な史料を通して明らかにしようとした。おもに旧制第一高等中学校の寄宿舍活動の成立を第一高等中学校の校内文書と木下広次関係文書を活用して詳細に解明するとともに、松本中学校と東京府立第一中学校の校友会活動などを変遷などについて校友会雑誌の雑報記事などを利用して実証的に明らかにした。

研究成果の概要(英文)：I examined about establishment and changes of Autonomy of Dormitory Life and koyukai asosociation in junior high school and high school under the old system of Japanese education in this study. Mainly I examined establishment of Autonomy of Dormitory Life in Ichiko high school and changed of Koyukai association in junior high school through the research of historical records in those school.

研究分野：教育史

キーワード：寄宿舍 校友会活動 校友会雑誌 旧制高等学校 旧制中学校

### 1. 研究開始当初の背景

本研究が対象とした旧制中学校・旧制高等学校の自治的活動については、学術的には未解明の部分が多い。

旧制中学校の寄宿舎については、各学校の沿革史や寮の記念誌などに記述があるものの、全国的な研究はほとんど見当たらない。

旧制高等学校の教育において寄宿舎が大きな役割を果たしたことについては広く知られているが、旧制高等学校教育に関する代表的な研究である箕田知義、寺崎昌男、宮坂広作などの研究においても、校内の史資料を活用した実態解明が十分にはなされていないとは言い難い状況である。

そのような中、申請者(富岡)は、本研究の開始時において、旧制高等学校寄宿舎の代表格である第一高等学校の寄宿舎自治の発足について、校内の史資料を活用した実証的研究に着手しつつあるところであった。

学生・生徒の自治的活動の場として、校友会活動も重要な存在であるとして従来から注目されてきた。しかし、高等学校の研究においても旧制中学校の研究においても校友会の成立と変遷を解明しようとする研究、つまり校友会はどのように、どのようなものとして成立したのか、そしてその特質は時期ごとにどのように変化したのか(あるいは、しなかったのか)を解明する研究はまだほとんど行われていない。

そして、旧制高等学校においても旧制中学校においてもともに寄宿舎や校友会が重要な役割を果たしながらも、旧制高等学校における寄宿舎・校友会と旧制中学校における寄宿舎・校友会とを比較・分析しようとする研究もほとんど行われていない。

### 2. 研究の目的

上記のような背景を意識して、本研究では、校内文書などの一次史料を活用して、旧制中学校と旧制高等学校における寄宿舎自治活動と校友会活動の成立と変遷を実証的に解明すること、さらに旧制中学校と旧制高等学校の寄宿舎と校友会活動を比較考察することを目的とした。

具体的には第1段階として、全国の旧制中学校・旧制高等学校の寄宿舎と校友会の成立状況などに関する基本情報の調査・分析を目指した。

さらに第2段階の寄宿舎と校友会の活動内容・組織の変遷に関する事例研究と、第3段階の寄宿舎の自治的研究と校友会活動についての個人別事例研究と、第4段階の総合的な考察を段階的に実施していくことを目指した。

### 3. 研究の方法

先述したような4つの段階を踏んで実証的な研究を進めていくこととした。とくに、第2段階からは一次史料が必須であるため、第1段階から、一次史料の入手を視野に入れ

ながら調査を進めた。

また第1段階では各学校の沿革史が重要な手がかりになるので、野間教育研究所や都道府県立図書館などを利用した。

第2段階では、各校の校友会雑誌を雑報欄を含み詳しく検討することに力を入れ、第3段階においては、重要人物の書翰などの個人文書も調査した。

各段階の調査・研究を以下のように実施した。

#### 第1段階調査・研究(全国の旧制中学校・旧制高等学校の寄宿舎の校友会についての基本調査)

平成22年10月16日 東京 渋沢栄一史料館 企画展「学生寄宿舎の世界と渋沢栄一」、高田知和氏講演「学生寄宿舎の世界と渋沢栄一」。

平成22年11月2日 東京 野間教育研究所で学校沿革史を調査。旧制彦根中学校の校友会と寄宿舎の事例など。

平成22年11月5日 東京 野間教育研究所で学校沿革史を調査。旧制松本中学校・山形中学校・宮城尋常中学校・松江中学校などの事例について。

平成22年11月19日 東京 野間教育研究所で資料調査。丘の蛙著『一高三高学生生活寮のさゝやき』1916年など。

平成22年12月10日 東京 野間教育研究所で地方自治と学校の自治活動に関連する史資料を調査。

平成23年4月29日 和歌山市 和歌山県立図書館で旧制和歌山中学校の校友会と寄宿舎に関する史資料調査。

平成23年5月20日 東京 中等教育史研究会第49大会(於慶応義塾大学三田キャンパス)に参加し、今泉朝雄「明治30年代以降中等教育寄宿舎論の一考察『家庭的』寄宿舎経営論」などを傍聴。

平成23年11月25日 東京 東京大学明治新聞雑誌文庫で旧制山形県尋常中学校の校友会雑誌、柳川橘陰学館の校友会雑誌『学園余芳』などを調査。

平成26年3月6日～7日 東京 野間教育研究所で寄宿舎と校友会に関する史資料調査(東京大学関係、第二高等学校関係、第六高等学校関係、第四高等学校関係など)。

平成 26 年 5 月 16 日 東京 日本大学  
文学部（世田谷区）で開催された中等  
教育史研究会第 55 回大会に参加し、堤  
ひろゆき「学校報国団結成前後の旧制中  
学校における生徒組織の対応 松本中  
学校相談会を事例として」などを傍聴。

平成 27 年 2 月 28 日 名古屋市 名古  
屋市立鶴舞中央図書館で愛知県内旧制  
中学校の校友会関係史資料調査。

## 第 2 段階調査・研究（学校別事例研究）

平成 22 年 10 月 8 日 東京 研究発表を  
実施。題目「森文政期の帝国大学と第一  
高等中学校における寄宿舎方針」、中等  
教育史研究会第 48 回大会（於早稲田大  
学早稲田キャンパス、東京都新宿区）。

平成 23 年 2 月 16 日 東京 東京大学大  
学史料室で東京大学および同予備門  
で起きた「明治 16 年事件」関係史資料  
を調査。

平成 24 年 1 月 26 日～27 日 佐賀市  
佐賀県立図書館で旧制佐賀県立佐賀中  
学校の校友会関係史資料を調査。

平成 24 年 2 月 1 日 岐阜市 岐阜県立  
図書館で旧制岐阜尋常中学校の校友会  
雑誌『学術講談会雑誌』および『華陽』  
を調査。

平成 25 年 2 月 19 日～20 日 東京 国立  
国会図書館で第一高等学校関係史資料  
（雑誌『文園』）調査、東京都立中央図  
書館で旧制中学校校友会関係史資料調  
査（日本中学校、早稲田中学校の事例な  
ど）

平成 25 年 2 月 22 日 長野県松本市 松  
本深志高等学校図書室で旧制長野県尋  
常中学校の校友会雑誌である『校友』を  
調査（1895 年 11 月 15 日発行の第 1 号～  
第 8 号、1900 年 9 月 20 日再刊第 1 号～  
第 4 号）。

平成 25 年 3 月 4 日 長野県松本市 松  
本深志高等学校図書室で『校友』を調査  
（第 5 号～第 31 号）

平成 25 年 3 月 20 日 名古屋市 愛知県  
立図書館で旧制愛知県尋常中学校の校  
友会雑誌である『学友会雑誌』を調査（第  
28 号～第 51 号）。

平成 25 年 3 月 22 日 岐阜県岐阜市 岐  
阜県立図書館で旧制岐阜県尋常中学校  
の校友会雑誌『学術講演会雑誌』第 19  
号～第 40 号を調査。

平成 25 年 7 月 5 日 長野県松本市 松  
本深志高等学校図書室で『校友』を調査  
（第 61 号～66 号）。

平成 25 年 11 月 5 日 東京 私立麻布  
中学高等学校の麻布学園学園史史料室  
で旧制麻布中学校関係史資料を調査。

平成 25 年 12 月 13 日 東京 私立麻  
布中学高等学校の麻布学園学園史史料  
室で旧制麻布中学校校友会雑誌の第 1  
号・第 2 号などを調査。

平成 26 年 1 月 7 日 長野県松本市 松  
本深志高等学校図書室で『校友』を調査  
（第 66 号～69 号）。

平成 26 年 2 月 5 日 長野県松本市 松  
本深志高等学校図書室で『校友』（第 70  
号～74 号）などを調査。

平成 26 年 3 月 12 日～13 日 東京  
私立麻布中学高等学校の麻布学園学園  
史史料室で旧制麻布中学校校友会雑誌  
の第 3 号～第 26 号などを調査。

平成 26 年 3 月 18 日 東京 東京都立  
日比谷高等学校で旧制東京府立第一中  
学校の校友会雑誌『学友会雑誌』（第 11  
号～第 20 号）などを調査。

平成 26 年 6 月 20 日 長野県松本市  
長野県松本市 松本深志高等学校図書  
室で『校友』を調査（第 75 号～83 号）。

平成 26 年 9 月 2 日 東京 東京都立日  
比谷高等学校で旧制東京府立第一中  
学校の校友会雑誌『学友会雑誌』（第 21 号  
～第 36 号）などを調査。

平成 26 年 9 月 5 日 東京 東京都立日  
比谷高等学校で旧制東京府立第一中  
学校の校友会雑誌『学友会雑誌』（第 29 号  
～第 85 号）などを調査。

平成 26 年 11 月 28 日 東京 東京都  
立日比谷高等学校で旧制東京府立第一  
中学校の校友会雑誌『学友会雑誌』（第  
87 号～第 97 号）などを調査。

## 第 3 段階調査・研究（個人別事例研究）

平成 23 年 10 月 14 日～15 日 熊本  
市 熊本県立図書館で木下広次「在仏雑  
記」に関する調査。

平成 23 年 12 月 1 日～2 日 熊本市  
熊本県立図書館で木下広次「在仏雑記」  
再調査、熊本近代文学館の講座「木下家  
の人びと」に参加。

平成 24 年 2 月 8 日～9 日 熊本県玉名市 玉名歴史博物館で木下広次関係書翰(木下広次から木下助之宛など)を調査。

平成 24 年 3 月 6 日～7 日 熊本県玉名市 玉名歴史博物館で木下広次関係書翰(木下真弘・井上毅から木下助之宛など)を調査。

平成 24 年 11 月 1 日～3 日 熊本県菊池市 菊池市立泗水図書館で木下広次関係史資料調査、熊本市立図書館で木下関連の史資料調査(古耕精舎、武藤環山関係)

平成 24 年 11 月 10 日～11 日 熊本市 熊本県立図書館公開講座「明治国家誕生前夜、熊本文京物語、儒者木下韓村の魅力」(講師 木野主計)に参加。

平成 24 年 11 月 30 日～12 月 1 日 熊本市 熊本市立図書館で武藤一忠(環山)・虎太父子の書翰(武藤家文書)を調査。

平成 26 年 3 月 2 0 日 東京 東京大学 駒場博物館で旧制第一高等学校関係史資料を調査(校友会創立委員の写真など)

#### 4. 研究成果

第 1 段階の調査については、野間教育研究所の学校沿革史などを活用して、数多くの旧制中学校・旧制高等学校における寄宿舎と校友会の概略的な知見を収集した。

第 2 段階では、史料保存状況と史料へのアクセスの良好な学校のなかから、とくに長野県松本中学校と東京府立第一中学校を、二つの典型例として選び、成立と変遷を詳細に検討した。

第 3 段階の研究としては、寄宿舎自治の代表例である第一高等学校の寄宿舎自治制の成立状況を校内文書や木下広次校長の個人文書などを活用しながら、解明した。

ただし、第 1 段階の研究の成果をまとめる作業、旧制高等学校における第 2 段階の調査・検討、旧制中学校に関する第 3 段階の調査・検討、第 4 段階の考察については、本研究期間中にまとめることができなかった。これは、史料調査に時間がかかり過ぎてしまったことが主な原因である。

本研究の助成期間は終了したが、ひきつづき研究をすすめ、成果を公表し続けていく所存である。

#### 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計 5 件)

1 富岡勝「第一高等学校寄宿舎自治制導入過程の再検討(その五) 寄宿舎自治制度導入過程から見えてくること」上、単著、2013 年 10 月、『1880 年代教育史研究年報』、査読無、第 5 号(pp.83-107)

2 富岡勝「史料紹介 木下広次の「在仏雑記」と木下助之宛書簡(1876 年 7 月 22 日)」上、単著、2012 年 11 月、『近畿大学教育論叢』、査読無、第 24 巻第 1 号(pp.59-74)

[http://kurepo.clib.kindai.ac.jp/modules/xoonips/listitem.php?index\\_id=14518](http://kurepo.clib.kindai.ac.jp/modules/xoonips/listitem.php?index_id=14518)

3 富岡勝「第一高等学校寄宿舎自治制導入過程の再検討(その四) 寄宿舎自治制案の登場・検討と自治制導入」上、単著、2012 年 10 月、『1880 年代教育史研究年報』、査読無、第 4 号(pp.79-127)

4 富岡勝「第一高等学校寄宿舎自治制導入過程の再検討(その三) 皆寄宿舎方針への文部省の対応とその背景」上、単著、2011 年 10 月、『1880 年代教育史研究年報』、査読無、第 3 号(pp.101-115)

5 富岡勝「第一高等学校寄宿舎自治制導入過程の再検討(その二) 木下広次教頭就任の背景と就任当初の方針」上、単著、2010 年 10 月、『1880 年代教育史研究年報』、査読無、第 2 号(pp.55-82)

[学会発表](計 2 件)

1 富岡勝「校友会雑誌から見る明治中期・大正期・昭和初期における旧制中学校の校友会 東京府立第一中学校と長野県松本中学校を中心に」(教育史学会第 58 回大会研究発表、2014 年 10 月 4 日、於 日本大学文理学部(東京都世田谷区))

2 富岡勝「森文政期の帝国大学と第一高等

中学校における寄宿舎方針」(中等教育史  
研究会第48回研究会研究発表、2010年10  
月8日、早稲田大学早稲田キャンパス(東  
京都新宿区

〔図書〕(計0件)

〔産業財産権〕

出願状況(計0件)

名称：  
発明者：  
権利者：  
種類：  
番号：  
出願年月日：  
国内外の別：

取得状況(計0件)

名称：  
発明者：  
権利者：  
種類：  
番号：  
出願年月日：  
取得年月日：  
国内外の別：

〔その他〕

ホームページ等

## 6. 研究組織

### (1) 研究代表者

富岡 勝 (TOMIOKA, Masaru)  
近畿大学・教職教育部・教授  
研究者番号：50303798

### (2) 研究分担者

なし

### (3) 連携研究者

なし